

ネイチャーウォッチングだより

令和5年 10月 25日(水)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大学・短期大学

10月21日(土)、Bグループの第2回ネイチャーウォッチングを開催しました。会場は豊川市の東三河ふるさと公園。御油町の自然豊かな丘陵地を利用した広大な敷地に、庭園や山野草園、展望ツツジ園など多くの観察スポットがある県営の施設です。快晴の空が広がった土曜日でもあり、朝早くから、ウォーキングや自然観察などに多くの方が訪れていました。

今回の親子自然体験は、「里山の生き物ウォッチング」です。15組47名の親子の皆さんが、遊歩道を散策しながら自然観察を楽しみました。講師は元豊川市立音羽中学校長藤原優年先生です。秋の園内で見られる動植物や地質などを、実際に観察しながら、説明していただきました。

散策を始めてまず、イロハモミジやアケビについての解説がありました。モミジの枝先には羽根付きの小さな実がたくさん付いており、落ちるときにくるくる回ること、風に飛ばされることがわかりました。また、アケビは実が割れると、中の白いところを食べることができます。

遊歩道のところどころで、シダの仲間が多く観察できました。ウラジロやゼンマイなどいろいろな種類があることを教えていただきました。見た目には似ている木の実でも「クサギ」と「ゴンズイ」のように別の植物だったり、「ムラサキシキブ」と「ヤブムラサキ」のように、葉の手触りが違ったりすることを知ることができました。



「領家変成岩がこの辺りの地盤です」

途中、岩場が露出した場所で、岩石の様子を指しながら「この地域は領家変成帯といい、変成岩が地盤になっています」と解説されました。間近に見ることで、硬くて古い地層の上にこの土地ができていのだと納得することができました。

山頂近くの展望ツツジ園からは、三河湾や渥美半島、豊橋市街などが一望でき、歩き疲れた体に元気を注いでくれました。ここで少し休憩した後には下り坂です。最後の観察地点に植

えられているフジバカマの群生地では、「渡り」をするチョウとして知られるアサギマダラを観察することができ、多くの方がその美しい姿を写真や動画に収めていました。

最後に参加者からの声の一部を紹介します。

葉っぱの匂いや形が色々あることが分かって楽しかったです。(子)

一億年前の地層の話が特に面白かったです。(子)

身近な公園に植えられている植物の由来や知識など聞いていて興味が湧く内容で親子で楽しめました。(父)



里山の生き物ウォッチングに参加された皆さん



アケビの実

途中、岩場が露出した場所で、岩石の様子を指しながら「この地域は領家変成帯といい、変成岩が地盤になっています」と解説されました。間近に見ることで、硬くて古い地層の上にこの土地ができていのだと納得することができました。

山頂近くの展望ツツジ園からは、三河湾や渥美半島、豊橋市街などが一望でき、歩き疲れた体に元気を注いでくれました。ここで少し休憩した後には下り坂です。最後の観察地点に植



アサギマダラを説明される藤原先生

たくさんの木を見ながら歩き、楽しかったです。アサギマダラが見られてよかったです。(子)

たくさんの植物の解説を聞きながら歩け、とても楽しかったです。また家族で、本を片手に山の散策をしてみたいと思いました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。(母)